

# 会 議 の 経 過

## 1 開 会 午後1時20分

(小椋教育長) これより第6回倉吉市教育委員会定例会を開会する。

## 2 前回議事録承認

## 3 議事録署名委員の選出 仲田委員

## 4 議 事

### (1) 議案第17号 平成29年度倉吉市教育行政の点検及び評価について

(資料に沿って、教育総務課長説明)

教育長 ただ今、説明をいただきました。何かご意見があればお願いします。

委 員 2点確認です。前回の倉吉市教育の創造の教育委員会の活性化はAではなく、Bでよろしかったでしょうか。それから、評価にあたっての部分の字句は「取り組んでいる」ではないでしょうか。

教育長 ありがとうございます。最初の部分はBでよろしいです。2番目の表記については修正いたします。

その他ございませんでしょうか。

この資料は議会へ報告いたしますし、この後行われる市長との総合教育会議の資料にもなります。前回の委員会の資料に加えまして、教育委員会の主な動向や、教育委員さんの活動内容も入っておりますので、ご承知いただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

(各委員意見なし)・・・承認

### (2) 議案第18号 平成30年度教育費補正予算について

(資料に沿って、学校教育課長説明)

教育長 以上、議案第15号についてご質問等はございませんでしょうか。

(各委員異議なし)・・・承認

教育長 河北小や北谷小は取り組み内容について、発表の場も求められているのですか。

学校教育課長 発表は今年度中に研究会を開催することになっております。

## 5 協議事項

### (1) 倉吉市安全衛生推進協議会について

(資料に沿って、学校教育課長説明)

教育長 いかがでしょうか。内容を読んでいただきまして、この会の進め方だとか、こういう点に留意してほしいだとか、ご意見がいただけるとありがたいです。私の感想としては、学校の実態が細かいところまで聞けました。教頭先生方に集まっていたいただきましたし、組合の代表の方にも来ていただいておりますので、これをどのような対策プランにしていくかというところです。

委 員 これは、今までにはなかったことですね。

学校教育課長 はい。会も初めて開催しております。こういった取り組みを行っているのは、県内の市町村教育委員会で初めてです。組合もそうっております。

- 委員  
学校教育課長                   これは、法律に基づいてということではないのですか。  
  こちらにつきましては、50名以上のところは衛生推進委員会を設けるようになっておりますが、今、倉吉市では50名以上いる職場はございませんので、衛生推進者は教頭先生がなっておられますが、こういったものを置いて対応させていただいております。ただ、今後働き方改革の部分で、こういった協議会を開いて対策プランをきちんと練っていくことが大切なのではないかということで第1回の協議会を開催させていただきました。
- 委員  
学校教育課長                    参集者が全ての小中学校ではないのですが、何か条件があるのでしょうか。  
  参集者は2年目の教頭先生が中心となっております。今年度、新たに配置された教頭先生は除いております。現状がなかなかわからないと思いますので、2年目、3年目の教頭先生を中心に選ばせていただいております。
- 委員  
学校教育課長                    選ぶということは、ふつう考えると1年目であろうと2年目であろうと、他校の状況を理解しながら自校の問題を考えるとといういい教材になるわけですから、排除する理由が納得できないです。  
  初めての会ですので、たくさん集まられると意見を言いにくいのではないかとということもあまして、必要に応じて人数を増やしていく必要もあるのではないかと考えております。まずは、現場の意見が言いやすい人数を考えて設定させていただきました。
- 委員  
学校教育課長                    組合の支部長と書記長を入れられているのはなぜでしょうか。  
  労働者側の代表ということです。
- 委員  
学校教育課長                    選ばれたのが2～3年目の方ということだったのですが、学校規模によっていろいろな問題点があるのではないかと感じておまして、各学校の問題点を出す場合には学校の規模とか地域性によるものもあると思いますので、そういった問題を集められることも必要かと思えます。
- 委員  
学校教育課長                    委員さんからいただいた意見を踏まえながら、今後、参集者を必要であれば増やしていきたいと思えます。
- 教育長  
  今このタイミングで出張を命じられるのはかなり苦しいというご意見もございまして、会合がかぶっていたこともありまして、そういったことも考慮しながら、開催していきたいと考えております。
- 委員  
  非常にいい機会だと思いますので、たくさんいけば意見の収集がつかないという短所もあるでしょうし、逆に言うと意見の相乗りという長所もありますので、ぜひ継続的にやっていただきたい。それから、実態はインターネットがあるわけですから、状況は先に報告をしておいて、事務局でまとめて会議に集まった段階ですぐに討議に入るとということも可能だと思います。  
  もう一つ気になっていることがあるのですが、東中の前を通るのですが、いつも遅いですね。それで、この西中のところで、「勤怠システムで入力できない問題が多々ある」とありますが、現場の実態は確認しておられるのかを学校教育課長にお聞きしたいのですが、警備会社が入っておりますね。この警備会社の各学校のセットとリセットの時間は把握しておられますか。
- 委員  
学校教育課長                    はい。こちらについては、教育総務課にデータが入るようになっております。
- 委員  
学校教育課長                    それとこの勤怠管理を突合せするようなことはございますか。  
  勤怠管理については、倉吉市側から内容を見られるようにはなっておりません。

直接、学校と県が結びついているので、市教委が入れない状況ですので、ここをしっかりと把握できるようにということは県にも要望していきたいと考えております。それから、西中のところで、信頼性がないというところです。

教育長

これが大問題です。本当の先生方の勤務時間の集計ができるかどうかかなり疑問があって、県にもこのことは言うておりますが、特に土日の勤務の打刻についてかなり問題があるようです。これで集計されてしまうと、去年の同時期と比べたらかなり減ったなどといわれても困ります。

委員

教育総務課へ来る警備管理票は各学校にも行くのですか。

学校教育課長

各学校にも行きます。

委員

それと推進者である教頭先生が突合せしてこの日は誰が最後まで残っていたのかというのは大体目星がついているのでしょうか。

学校教育課長

勤怠システムについては、校長、教頭がしっかりと管理しておりますので、学校状況を聞くにあたって、私が学校を回らせていただいておりますが、管理職の方は先生方の勤務状況をしっかりと把握されておられます。

委員

ここに書いてありますとおり、やはり意識の問題が一番あって、帰れば帰るで何の支障もないということもあるでしょうし、人が仕事を作る、前任者以上の仕事を作るというのが人間の性だと思いますので、そのあたりの整理は、システム管理をしながら、人間の意識改革をやっていくようにお願いしたいと思います。

委員

システムはどのようなものですか。

学校教育課長

まず、勤務に入ったら自分または管理者のパソコンに自分の出勤時間を打刻します。帰るときにも打刻するものです。倉吉市ではICカードで打刻するようになっておりますが、学校では導入されておりませんので、パソコンに打刻します。ただ、勤務時間外入力するのに理由等を記載するのに手間がかかるそうですので、そういったところの改善は必要ではないかと考えております。

委員

自己申告ですか。

学校教育課長

そうです。

教育長

自己申告で、なおかつシステムが入ったばかりで操作に十分慣れていない人も若干おられるような状況で、校長会の時には10分でも15分でもいいので、パソコンをこのケースにはこういったふうにするのだということを説明会や研修会のようなものを随時お願いしますと言っています。慣れてもらうまでにはもう少し時間がかかるような気がします。

委員

これは学校の教職員だけですか。

教育長

はい、そうです。

委員

教育委員会というのはこの倉吉市の中になるのですか。ちょっと聞くところによると、教育委員会はずいぶん残業が多いと聞いております。先生方も大変だと聞くのですが、先生方を支える教育委員会が大変だと聞いたので、人に言うだけでなく自分たちも意識して、それだけの業務があるのではそれなりの対策をしないといけません。学校も全部そうでしょうけれども、支えてくださる教育委員会の方も疲れないようにお互いが意識していけたらと思います。「先生方も頑張ればいい」だけではなくて意識改革ということもありますし、システムは直していけばいいのですけれども、意識が変わらないとシステムをいくら変えても一緒になってしまいますので、そういったことをざっくばらんに話せる場にしていただけたらと思います。本音

がきちんと口に出して言える職場づくりをしっかりとしていただけたいと思います。

教育長

ありがとうございます。継続してご報告させていただきたいと思います。

その他よろしいでしょうか。

(各委員意見なし)

## (2) 倉吉市立小・中学校適正配置について

(資料に沿って、学校教育課長説明)

教育長

以上、説明していただきましたが、いかがでしょうか。

委 員

上小鴨ですが、今度事務局と話し合いをされるのはどういったメンバーを出されるのでしょうか。

学校教育課長

上小鴨については、小学校再編問題協議会を地区で立ち上げられておりますので、その中からメンバー選出をして、教育委員会事務局側と話し合っていきたいということをおっしゃっていただきました。

教育長

こちらをお願いしておりましたのは、幼稚園保育園の保護者さん、小学校中学校の保護者さんは必ず入れてほしいということですが、先ほどの上小鴨地区の協議会の中にすでに代表者が入っておられるという説明でしたので、そういった方々に再度説明をさせていただきたいです。私を感じたのは、今出されている案のとおりにならなければいけないと思っておられるようで、そうではなくて適正配置協議会の委員に出席いただいた方に他にいい案があれば出してくださいとか、こういった課題はどうしますかとか、そういった話をするためにこの会を持ちたいですという説明をしたのですが、やはり地域の代表の方は他の方はそのようなことは思っていない。今出ている案のとおりになってしまうのだというらえ方なので、高城の場合はそうではないですよという説明を地域の中でもう一度したいとおっしゃっていただきました。非常にありがたかったです。

委 員

上小鴨の方はたぶん小鴨と一緒にいるだろうという意識がすごくあるのではないかと思います。やはりどうかという意見が出ると思うのですけれども、保護者の意見を本当に聞いてみたいというのはあります。保護者のかたは子どもがこのままずっと大きくなっていても10人を割るようなことになれば、複式になる可能性もある。「インターチェンジができれば人口増の可能性もある」とありますが、どこでもそのようなことが起こっているわけではないし、日本全体が減ってきているので、増えることはないと思います。将来のことを今の世代の方がどう思っておられるのかということをしっかり把握して、協議会でも意見を言えない状態にならないようにして欲しいと思います。

教育長

おっしゃるとおりで、何年もかかっていると子どもさんが卒業してしまわれて保護者が保護者でなくなってしまうので、そうするとまた最初から説明しなければならなくなってしまいます。

それからここにはないですが、北谷地区と灘手地区にも出かけるように、日程調整をしております。また同じような前段の話になるとは思いますが、させていただこうと思っております。

委 員

けっこう時間がかかりそうですけれど、「もう一度スタートラインに立って」とはいつまでかかるのかなと思います。実際、耳にするのが、もういい加減に決めてしまわないといつまでやっているのかというようなことを最近特に聞くようになりました。待ちますよというような方たちばかりですといつまでたってもできないのではと

心配しております。現状はこうだからどうにかしなければならない、そのどうにかするための話し合いを始めましょうということで進めていかないとお任せばかりでは進めないだろうと心配しております。

学校教育課長

高城地区につきましても、地域の皆さんは教育委員会の案を進めたいのだろうと、つまり一挙に社小にと考えているだろうと思っておられる方々がほとんどだということでした。この代表者の方お2人は、地区の代表者を集められて教育委員会が考えていることをきちんと理解していただくための資料を作って、それを基に説明をしたいと言っておられました。誤解のある部分を少しでも解いていって、この適正配置をみんなで子どもたちのためにどうしていけばいいのかということ話し合いたいという気持ちを持っておられますので、そういった部分でスタートラインというようにおっしゃっておられるということでご理解いただければと思います。

委員

教育福祉常任委員会の議員さんのお考えとか話し合いはどのようになっているのでしょうか。個々人の意見はもっておられるとは思いますが、教育福祉として、福祉も子どもの教育も考えないといけない、両方お金がかかることを両建てでどこまで市の財政でやっていけるのかという中での議員さんのご意見はどのような状況なのでしょう。

学校教育課長

教育福祉常任委員会ではこの適正配置の内容については話し合いがなされておりません。ですので、結論が出ていないというところです。議会全体の一般質問ではいろいろと質問が出てまいりますが、その質問にお答えしております。常任委員会では適正配置について具体的な方向性は話し合いがなされていないという状況です。

委員

個々の話は置いておいて、教育福祉常任委員会の方々に小学校の在り方、今後中学校の在り方も検討していかなければいけないのですけれども、倉吉市の財政を念頭に、どういうお考えで市はやっていけばいいのかということ逆を常任委員会に諮問をかけるということではできないのでしょうか。

事務局長

昨年の10月に選挙がありました。その前段の4年間には適正配置の基本計画がありますということを常任委員会にも説明して、議員全員にも説明がしてあります。その間に賛成と意思表示をされた方、総論は賛成だけでもやり方はおかしいのではないか、教育委員会、市としては小学校から、でも中学校からの方が急ぐのではないかという方もあって、全体としては多くの議員の方が適正配置はしなければいけないでしょうという考えです。そして、選挙があつて、今ははっきりと反対を訴えられる方が数名おられます。全体としては、適正配置はしなければいけないのではないかと数が増えているのではないかと感じておりますが、常任委員会できとさらそれをテーマにした協議はしていません。以前に計画書を出した関係で今はやっておりません。常任委員会のメンバーも選挙があり、2年ごとに構成が変わってしまうということもあって、いつかの段階では執行部側としてそういった案を提案してやるということはあると思います。

委員

幅広く意見をいただきながら、味方につけるといふ言い方はおかしいですが避けて通れない問題なので結論を早急に出すべきではないか。ついては、3校一度にできなければ2校先にやりましょうという妥協案も必要なのかもしれないし、落とすところというのは政治的な決着でしょうからその辺りも踏まえて、事務局の方々も大変だとは思いますが知恵を絞っていただきますようお願いいたします。

教育長

その他よろしいでしょうか。

(各委員意見なし)

## 6 教育長報告

教育長報告（教育長 別紙のとおり）

## 7 報告事項

○5月臨時議会の対応状況について

### ○教育総務課

(1) 区域外就学・校区外就学の承認について

### ○学校教育課

(1) 不登校・問題行動の状況について

教育長 何かご質問はございますか。

委員 問題行動は保護者の方も巻き込んで話をしておられるのでしょうか。

学校教育課長 はい。定期的に保護者の会を設けさせていただいております。

教育長 今回のケースは継続的に丁寧に経過を見ていく必要があると思います。必要なところに助けを求めてもらわないとなかなかいい方向にはならないように思います。

委員 保護者との連携がうまくいっていないということですか。

教育長 そうです。

委員 この前の日曜日にとあるお店に食事に行った時に、8人ぐらい中学生だけで来店していて、料理を頼んだ後はゲームばかりしている。料理を食べて、後は黙ってゲームをしている。それもどうなのかと感じました。

教育長 ゲームは中毒になってしまうと本当になかなか直せないもので、ならないようにする努力をしていかないといけないと思います。

(2) 淀屋サミットについて

教育長 ご出席された委員さんから何か追加はございますか。

委員 各校の代表ということで非常に熱心な子どもさんたちで活発な意見交換ができていたと思います。ただ、花を咲かせるということだけではなくて、花を咲かせようとした意味について、それぞれがしっかりわかっていて、そこからどこに繋げていこうかという話までできていたようです。その子たちが今度はリーダーとして次につながっていく取り組みができていると感じました。

教育長 ありがとうございます。チーム倉吉という話し合いができたと思います。

### ○生涯学習課

(1) 倉吉市社会教育委員の委嘱について

### ○文化財課

(1) 文化財課所管建物の利用状況について

### ○倉吉博物館

(1) 倉吉博物館協議会委員の委嘱について

- (2) 特別展「山本二三展」事業経過報告について
- (3) 自然ウォッチング事業報告について

○図書館

- (1) 第7回山上憶良短歌賞の広報の開始について
- (2) 山上憶良の会事業決定について

○その他

- (1) 青少年問題対策協議会について

教育長 何かご質問はございますか。

委員 この前の週末にたくさん運動会が行われましたが、土曜日授業の時に運動会をされることもあるのですが、土曜日授業はふるさと学習という認識があるのですけれど、そこに運動会を充てられるというのは特に問題はないのでしょうか。

学校教育課長 運動会も地域の方々に来ていただき、見ていただくというところではありますが、委員さんのおっしゃるように、土曜授業の趣旨からいうと土曜授業での運動会実施はどうかと考えております。その部分も含めまして、働き方改革の協議会も立ち上げておりますので、土曜授業についても、委員さんからご意見をいただけたらと思います。

委員 そこに運動会を持ってくると半日勤務はどのようにとられるのでしょうか。半日代休、半日年休ですか。そのあたりの休暇の取り方もどうなのかと思います。

教育長 おっしゃるとおりで、振替の取り方が少し難しいです。

学校教育課長 振替の取り方ですが、土曜授業として実施しておりますので、午前中の分は8月の盆時期に持っていくます。残りの半日については、月曜日に子どもたちを登校させて、午後から先生方も休むという形をとっておられるところが多いです。なお、このたび実施されました学校は、上灘小、西郷小、河北小の3校でした。

教育長 状況を聞いてみて、明らかに改善の方向が良いというご判断であれば、来年度に向けて協議をしたいと思います。

委員 労働時間の問題と土曜授業のあるべき姿がどうなのかという2つの問題があると思います。そのあたりは、しっかり整理をしていかないといけないと思います。せっかく土曜授業することが決まっているのに、そうではない使い方がしてあるのであれば改めないといけないのでしょうし、一方で働き方の中で強制労働的なものになっているのであれば改めないといけないでしょうから、また整理してみてください。

学校教育課長 土曜授業についても、先生方の負担という部分で話し合っているということになっております。学校側の意見を聞きますと、先ほど委員さんがおっしゃられたように、小学校は運動会、中学校については総体予選前で、この時期の土曜授業はどうかということで、校長先生方からもご意見を聞いております。

もう一点が、7月の土曜授業です。今年度、県教委からこの日は空いているということで、土曜授業を組ませていただいたのですが、後になってから教員採用試験をぶつけてこられる。その上に、通信陸上というのがありまして、その日もぶつけてこられるということで、中学校側も7月の体制について四苦八苦する状況ですので、先ほど、学校側の負担軽減ということも話をさせていただいておりますが、そういった部分での話し合いが必要かと考えております。

委員 ふるさと学習なので、地域の方も講師に来ていただいて授業していただく。ふるさ

とマップを作ったので歩いてみる。そういったことを工夫されれば教員の負担も軽減されるのではないでしょうか。

教育長

おっしゃるとおりで、土曜授業を動かす時に、学校側も新しいことを段取りして始めなければいけないのではないかと懸念がたくさんありました。本当の狙いはそうではなくて、おっしゃるように地区公民館に頼めるのであれば、外部から来ていただいて、何らかの活動をするというのはもちろん可能です。そこは、再度学校に説明をしていきたいと思っています。4月の校長会で説明したのは、「月～金までに行っているものを1つか2つ土曜日に持ってくると、月～金が少しでも楽になるという考え方もあります」ということは言っておりますので、特別に新たなことを始めてくださいという趣旨ではないと説明はしております。

委員

運動会で思ったのは、今、小学校はほとんど5月にされますね。小学校に行ったら、一生懸命陸上の練習をしていました。運動会の練習ですかと聞くと、いや陸上大会の練習ですと言われた。この時期は、陸上大会の練習があるし、運動会の練習がある。それが終わったら今度はプールが始まる。プールが始まると今度は、水泳大会のために、とずっと放課後、子どもたちも先生もスケジュールがきついような気がして、5月の運動会にはそれなりに意味があって5月に持ってこられるのだと聞いたことがあったので、それはそれでいいのですが、本当に無理のないようにしていただきたい。熱心な先生は、がんばれと残らせるのですが、保護者からは子どもたちが疲れ切って大変だという声もちらほら聞きます。小さい学校は、特に全員が選手のようなところもありますので、がんばらせたいという先生の気持ちもわかりますけれども、無理は禁物です。近年、気温が高い中で無理して熱中症にならないか心配になります。気持ちはわかりますが、そこはセーブしていくことも校長先生なりが抑えることも必要なのではないかと気になったところです。

学校教育課長

同じようなご意見が、実は出ておりました。小学校の場合、各大会に向けて、5月には市陸上、7月には中部水泳、9月には中部陸上がございますので、陸上、水泳、陸上とずっと続いていくので、こういった大会をどうするのか、やってもいいのですが、ある程度時間等を決めて、市として学校の理解を求めて、どうしていくのかを協議していく必要があるのではないかとといったようなご意見をいただいておりますので、次回以降の会議でそういったところも話し合っていきたいと考えております。

教育長

その他ございませんでしょうか。

教育総務課長

先回の定例会の中で、委員からホームページの閲覧について更新だけでなく、閲覧の検証についてできているのかということがございました。これにつきましては、検証した結果、ホームページ上のカウンターは個別にはできないということでありました。ただ、閲覧件数につきましては、リレーコラムは平均約150回ということでした。今後も引き続きホームページを使った情報発信をしていきたいと考えておりますので、よろしく願います。

委員

ご承知だとはございますが、倉吉市立小中学校の校長名簿が更新されておられませんので、よろしく願います。

小中学校のそれぞれのホームページは、更新が大変であるならば無理にしくなくてもやめればよいと思います。情報発信の仕方はいろいろあると思うので、そのあたりに意識があるのかどうか、開かれた学校を標榜しておられる中でこういったところで、開かれた学校とっておられるのか、そういったところを問いただしていくことが必



要かと思います。

## 教育長

三松奨学金について概要をご報告いたします。三松奨学金はキリンビール創設者である磯野長蔵氏の寄附から始まっているのですが、その奨学金と倉吉市が整えている奨学金と中身は全く同じなのですが、今まで2本立てで来ておりました。それを三松奨学育英会の資金をそのまま倉吉市へ移行して一本化できないかということが以前からございました。この3月に福井教育長と事務局職員が東京へ行かれて、磯野氏のご親族である磯野不動産の社長さんとお会いし、ご説明させていただきました。そうしましたら、その案は承知していただきましたが、磯野長蔵氏の名前を残していただきたい。合わせて子どもたちの奨学金の用途に使うことは継続してほしいということでご了解をいただきましたので、今年度中に2つの奨学金を1本化する動きを進めております。その時に磯野不動産から1千万円の寄附を新たに三松奨学育英会にいただきましたので、ご報告をいたします。

## 7 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成30年6月28日（水）午後3時00分

場 所：倉吉市役所 第3会議室

午後2時40分終了

## 8 閉会